

まちのニュース カメラアイ ～地域の問題をお届けします～

スキー、楽しかったよ！

和寒東山ジュニアスキー教室（教育委員会主催）を1月11～12日に開催しました。参加した保育所年長児と小学1年生の18名は、はじめは怖がっている子もいましたが、スキー協会指導員の安全で丁寧な指導により、あっという間に上達。終了後には「スキーが滑れるようになってうれしい」「もっと滑ってくる」と喜んで報告する姿が見られました。



1/11
(土)

1/24
(金)



雪の中から青々したキャベツ

和寒小学校3年生児童が、農業活性化センターで、雪の中からキャベツを掘り出す体験をしました。

6月に種をまき、7月に苗を植え、11月に根を切って畑に並べる作業をしてきました。最後の作業は冷たい風が吹く寒い中でしたが、児童たちは元気いっぱい雪の中から青々としたキャベツを掘り出していました。

作業の後は、自分たちで作ったキャベツをジンギスカンと一緒に食べ、キャベツの甘みに驚き、1年間の体験学習を終えました。

「黙々と石を削りました」

1月28日（火）、子育て講座で「^{まがたま}勾玉作り教室」が行われました。

講師に彫刻家の長澤裕子さんをお招きし、参加されたお母さんたちは、しばし無言で黙々と石削りに没頭していました。作業を進めながら「最近、誰かにほめてもらったりしていますか？」との問いかけに、長澤先生やお母さん方みんなで真剣に語りあう中身の濃い講座になりました。



1/28
(火)

1/29
(水)



みんなが気軽に集まれる場所を

昨年11月にオープンした「憩いのオアシス アマリリス」（旧たけだ衣料店跡）で、1月29日、町内7カ所のサロン等の担当者による情報交換が行なわれました。

運営が4年目となるサロンもあるなか、多くの地域の方々に利用してもらうよう趣向をこらす一方で、参加者の自主性に任せて自らは力を抜いて楽しむことを意識しているなど、活動を続けていくなかで試行錯誤している様子や得た視点などについて、互いに参考となる話題が多く出されました。

2/3
(月)



『みんなで鬼退治』

保育所で、節分の行事「豆まき」が行われました。

当日は、子育て支援センターこども館に遊びに来ていた親子が保育所見学をしていたところ鬼が突然現れ、保育所の子どもたちは「鬼はそと〜！」と大きな声で新聞玉を投げつけ、鬼を追い払ってくれました。

怖がっていた子も心の中の「泣き虫鬼」を退治することができたのではないのでしょうか。

プログラミング超初心者教室

2月5日（水）、公民館で生涯学習講演会「プログラミング超初心者教室」を開催しました。

CrossRoad 代表 中野利樹さん（元和寒町地域おこし協力隊）を講師に、プログラミングとは何なのか、何ができるのかなどを学びました。11名の参加者からは、「初歩的な内容を知ることができ、プログラミングに興味を持つことができた」「論理的に考える力が必要だとわかった」と話され、おいしいコーヒーを楽しみながら自らの学びを深めていました。

2/5
(水)



今年1番のしばれ！冬も地域で交通安全

-34.5℃を記録し今年1番の厳しい冷え込みとなったこの日。三和・菊野自治会で「第27回三和しばれぶっとばせフェスティバル&冬の交通安全スポーツの集い」が開催されました。

開会にあたり、「交通安全の誓い」を参加者全員で読み上げ、交通事故に遭わないよう、交通安全への気持ちを新たにしました。約60名の参加者は、厳しいシバラレの中、つきたてのお餅や豚汁、甘酒などで体を温めながら、軽スポーツで親睦を深め、冬の日を楽しんでいました。

2/9
(日)



災害の備えを確認

若草自治会「防災の集い」が若草自治会館で開催され、40名の参加がありました。

若草自治会 防災士の方などの話で「自分の身は自分で守るための災害の備え」について、意識を高めていました。

また、お湯を入れるだけで食べられるご飯の非常食を試食して「美味しいし、5年間保存できるので、ぜひ購入したい」との声がでていました。

2/10
(月)

